

## 新理事に福田、幸後両氏が就任

セメント協会理事会は4月26日、福田修二氏[太平洋セメント(株)代表取締役社長]の理事・副会長就任、および幸後和壽氏[㈱トクヤマ代表取締役 社長執行役員]の理事就任を承認した。

ここでは両氏へのアンケートをもとにその横顔と略歴を紹介する。

### 質問内容

- Q1：社長に選出されたときのご心境は？  
 Q2：トップとして会社をいかに牽引していきたいか？  
 Q3：セメント協会理事(副会長)として協会活動にどう関わりたいか？  
 Q4：趣味・気分転換の方法は？  
 Q5：尊敬する人物、その理由。座右の銘は？  
 Q6：もし一か月の休暇があったなら？

### 福田 修二(ふくだ しゅうじ)氏

A1：自分に社長という大役が務まるかどうか不安でした。いままでのサラリーマン生活で人事に関しては即断で「わかりました」と即答してきましたが、初めて「考えさせて下さい」という返事をしました。3日間猶予をもらい「考えてもしょうがない、引き受けるしかない」とそこで腹をくくりました。

A2：従業員のマインドをプラス思考に変えて行きたいです。これまで減少していく需要の中ではどうしても「失敗してはいけない」が先行しがちでした。これからはそういう考え方を断ち切って自由闊達に意見を述べ合い、失敗を恐れないチャレンジ精神を発揮して欲しいです。

A3：業界に対する見方、期待感、存在感が変化してきていると思います。責任と誇りを持って協会活動に関わって行きたいと思っています。何事も率直に話し合い、さらなる関係を築いていきたいと思っています。

A4：これといって没頭している趣味はないのですが、自宅のバラいじりなどの園芸でしょうか。

A5：父です。高校まで親と同居していたせいか、考え方のベースは父の影響が大きいです。

A6：あったらいいのですが…、なかなか現実的ではないので想像できません。

【略歴】1951年山梨県生まれ。1974年福島大学経済学部経済学科卒業後、小野田セメント(株)(現太平洋セメント)入社、99年太平洋セメント(株)経理部長、2006年北陸支店長、08年執行役員(人事部長)、10年取締役常務執行役員(人事部長)、同年取締役常務執行役員、12年4月より現職。



### 幸後 和壽(こうご かずひさ)氏

A1：私が就任した2009年1月は、まさにリーマンショックの直後で、急激に経済環境が悪化しつつありました。例えるならば、乗組員の力を信じて荒海に小さな船で漕ぎ出す船長の気分だったことを思い出します。

A2：わが社は2018年2月16日に100周年を迎えます。そこでトクヤマグループ「100周年ビジョン」を定めました。この100周年ビジョンは『挑戦と変革』がキーワードです。具体的には、環境変化に即応できる経営体制と、明るく元気で働きやすい職場環境を整え、一人ひとりが120%の力を発揮できる企



業風土を確立し、その結果、連結売上高 5000 億円など具体的目標の達成と、企業価値の向上を目指していくものです。

A3：生産量、国内需要ともにピークの半分となったセメント産業を、安心・安全・快適な生活のための国土保全の担い手として、また日本経済の屋台骨を静かに支える資源環境事業を柱に、復活させたい。

A4：休日は主にゴルフかウォーキングですね。たまに温泉に行つてはその土地の名産品探索を楽しみます。

A5：みんな世のため人のため。なせば成るなさねば成らぬ何事も

A6：ひとつは秘湯百選めぐり、もうひとつは元気なうちに杖と白装束で四国八十八箇所のお遍路さんをやってみたいですね。

**【略歴】** 1950 年福岡県生まれ。1975 年東京工業大学工学部化学工学科卒業後、徳山曹達(現トクヤマ)入社、99 年エレクトロニクス営業部長、同年 IC ケミカル営業部長、2002 年シェイパル営業部長、04 年理事就任 機能材料部門副部門長兼シェイパル営業部長、06 年理事 機能材料部門長、鹿島工場管掌、同年取締役就任、07 年機能材料部門品質保証グループリーダー兼務、09 年 1 月代表取締役社長、11 年 4 月代表取締役社長 執行役員、6 月より現職。